

## 浜岡原子力発電所1号機 ハフニウム板型制御棒の点検結果について

平成18年6月30日

停止中の1号機で使用しているハフニウム板型制御棒5本について外観検査を実施し、ひび及び破損が無いことを確認しました。

### ◆これまでにお知らせした内容

平成18年1月に東京電力(株)福島第一原子力発電所6号機において、ハフニウム板型制御棒にひび割れおよび破損が確認されたことを受け、当社は、国の指示に基づき、運転しているプラントにおいては、熱中性子(※1)照射量が $4.0 \times 10^{21}$ 個/cm<sup>2</sup>を超えるハフニウム板型制御棒の全挿入操作や、定期検査で停止しているプラントでの点検などを順次実施し、国へ報告を行っています。

本日(6月29日)より、停止中の1号機で使用しているハフニウム板型制御棒5本について、ひび及び破損の有無について確認するため外観検査を実施します。

(平成18年6月29日お知らせ済み)

(※1)熱中性子はウラン235との核分裂反応を起こしやすくするために減速材で速度を遅くしたエネルギーの低い中性子です。高速中性子はウラン235の核分裂直後に発生する速度が速くエネルギーの高い中性子です。

以上